

まなびの広場
稲進会
教室通信

彩色いろいろ

「子どもへの願い」

保護者の皆様は、お子さんの将来を考えた時、どのようなことを願われますか。

健康であってほしい、仲の良い家族を作ってほしい、素晴らしい友人に囲まれてほしい……、いろいろなことが浮かばれることと思います。

一つの大事な要素も多くの方が考えられるでしょう。それは『経済面』です。めちゃくちゃお金持ちに！と中には思われる方もいらっしゃるかもしれませんが、多くの方はお金に関して不安を感じることなく安心して生涯を送れる程度は持てるようになってほしい、そんなふうに思われるのではないのでしょうか。

お金の手に入れ方について少し考えてみたいと思います。

お子さんが大学生になりました。ある時、リビングのテーブルの上に財布が置かれていました。お母さんは、悪気なく中を開けました。1万円札が10枚入っています。毎月与えているお小遣いとはかけ離れた金額です。驚いたお母さんは、お金の出処を子どもに尋ねました。

返ってきた答は。

「アルバイト」。一応お母さんはホッとしますね。でも、気になることが浮かんできます。

「どんなアルバイト？」

イベントの手伝い、コンビニ、大学生ですので居酒屋なんていうのも出てくるかもしれませんが、価値観により多少の相違はあるのかもしれませんが、いわゆる一般的なアルバイトであればお母さんも安心できるでしょう。

では、こんな場合を考えて見てください。アルバイトの内容を子どもはなかなか言おうとしません。厳しい追及の結果、アルバイトの内容が判明しました。

「オレオレ詐欺」の手伝いをしていたのです。

「ガーン、まさかうちの子が」お母さんはそう思われることでしょう。

社会に出てからある程度のお金を手に入れることをお子さんに願う中、欠かせない視点は、ただ手に入れることではないことです。社会に役立ち、その対価として誰に恥じることないお金を手に入れて欲しい、親が経済面で子どもに願うことのはずです。

右の図は、心理学者アルフレッド・アドラーが唱えた「共同体感覚」と「活動性」を軸として、社会に有用な人の位置づけを分類したものです。次回に詳しくご紹介いたします。



参考:『アドラー心理学入門』

教室の風景

大人を楽しむ！

パンを焼くのが好きです。子どもたちが幼い頃は、キッチンで生地を叩きつける音がすると子どもたちが満面の笑みで駆け寄ってきて自分でやりたがったり、生地の発酵を好奇心いっぱいの顔で覗き込んでワクワク待ちしていました。

同じパンを作るのでも気温や湿度、粉のブランドによってその日の分量を変えたり、生地にまとまるまでの捏ね時間も変わってきます。そして「これでよし」と思ったらそこからは生地が自分の力で発酵(成長)して膨らんでいくのを信じて待つだけ。なかなか発酵しない日もあれば、好条件が重なって驚くほど膨らむ日もあります。

子育てはパン作りに似ています。子どもたちがのびのびふっくら大きく成長するためにも、試行錯誤の捏ね時間や彼らを信じて待つ発酵時間が必要です。アプローチの仕方も支援の仕方もそれぞれで、発酵(成長)のタイミングやスピードも違います。手をかけて捏ねる時間や手法を伝える瞬間、手を出さずにじっと成長を待つタイミングを見極め、美味しいパンが焼けるお手伝いができればと思います。

また、子どもたちがたくさんのワクワクとドキドキでパン作りを楽しんでいたように、教室のみんながワクワクドキドキ成長過程を楽しんで「焼きあがり」に夢と期待を持てるよう、私たち大人も日々を楽しんで「成長は楽しい！大人は楽しい！」ということを伝えていけるといいですね♪大人を楽しみましょう！

インストラクター 赤崎貴子



作品★紹介



『すべり台つきの家』

屋上からすべり台を使うことで一気に地上に降りることができます。庭では家族みんなでランチ中！



『城??』

城をテーマに製作していた作品ですが、とてもおしゃれな豪邸といった感じに出来上がりました！



『桃太郎見参!』

どんぶらこと流れてきた桃を割ると見事！桃太郎が現れました！